

伊豆市観光推進基本計画案 パブリックコメントの実施結果について

(1) 意見募集期間

令和8年1月7日（水）から1月21日（水）

(2) 周知方法

- ①市ホームページへの掲載 ※アクセス数 370 件
- ②広報いず1月号への掲載
- ③FMISでの放送
- ④市民情報メール・伊豆市公式LINEでの発信

(3) 意見の応募者及び件数

応募者 7人 意見数 24件

提出方法（人）	持参	電子メール	郵送	計
		2	4	1

(4) 意見の内容

別紙のとおり

(5) 意見の反映

A：計画に反映（修正等有）	6
B：今後の取組みの参考とする	18
計	24

(6) 応募対象者

- ①市内に在住・在勤・在学する方
- ②市内に事業所などを持つ法人、その他の団体
- ③本市に対して納税義務を有する方

■伊豆市観光推進基本計画案に関するパブリックコメント

<ご意見対応表>

	ページ・項目	ご意見の内容	対応及び意見に対する考え方
1	33 ページ 第4章 計画の推移 (1)計画の推進体制	<p>「プロジェクト」について、3つの基本方針、9つの戦略との関係のコメントが見当たらないので、その位置づけや説明が必要です。</p> <p>一般的にプロジェクトは基本方針や戦略より下位の概念で具体的な施策になります。</p> <p>このため、プロジェクトは関係団体や事業者から9つの戦略を踏まえ、具体的な提案をしてもらい、DMOが市と相談して採択することが必要と思います。</p> <p>なお、プロジェクト推進するチームにおいて具体的な結果を出すためには、チームの構成メンバーは関係団体や事業者から選出された者にすることが、望ましいと思います。</p>	<p>【ご意見を反映し、修正します】</p> <p>ご指摘のとおり、3つの基本方針に基づく、9つの戦略との関係性の説明が不足しているため、33ページ冒頭の説明文に「本計画では、将来像実現のための3つの基本方針、そして9つの戦略を位置付けています。そして、具体的な施策は、各戦略に基づき実施していきます。」の記述を追記します。</p> <p>また、プロジェクト推進チームについては、貴重なご意見として承り、今後のチームの立上げや運営において参考とさせていただきます。</p>

2	<p>23 ページ 第3章 戦略と取組み (2)戦略ごとの主な施策 戦略5 魅力的な観光商品の開発・販売とプロモーションの推進</p>	<p>これまでの既存温泉観光地への誘致もありますが、温泉宿泊+レジャー(イズシカ得意とする分野)での誘致で、滞在時楽しく過ごしていただくとともに、リピーター及び友人への紹介をしていただくとよいと思います。</p> <p>提案としては、湯ヶ島温泉を宿泊基地とした、天城山ハイキングの提案紹介。昨年、八丁池下のワサビ沢で作業していましたら、オーストラリアからの観光客が10名ほど下山してきました。皆さん和やかで、「何をしていますか。」と質問してきました、ワサビの栽培をしていますと答えたら、「これがワサビですか」と感激しておりました。案内人は日本在住の女性の方でした。</p> <p>湯ヶ島温泉の活性化のために企画提案いたします。</p> <p>天城連山を案内する方は多くいると思います。温泉旅館宿泊+ガイド付き天城連山ハイキング+移動車両をパッケージに、南半球冬季に新緑から秋の自然を散策紹介すれば、参加者は感動するものと思います。温暖な伊豆の自然は海外の自然とは違い、感動を与え非常によろしいと考えます。国内滞在の外国人の方々にも喜んでいただけるものと思います。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご意見のとおり、関係団体や事業者との意見交換の中で、「わさび」や「地元のガイド」は外国人観光客からの評価が高いとの意見が多く、また、伊豆市産業振興協議会が実施する、ガイド付きのモニターツアーは満足度が高く、今後の観光振興において体験型コンテンツは、観光消費額の増加が期待できます。一方で、地域の活性化に繋がる安定したコンテンツとして販売するためには、生産者の受入れ体制やガイドの育成、関係者間による運営体制の構築、効果的な情報発信など、様々な課題が散見されます。</p> <p>これらの課題をクリアし、魅力的なコンテンツの造成に向けて、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>20～21 ページ 第3章 戦略と取組み (2)戦略ごとの主な</p>	<p>例として 世界一の産量 ワサビ 観光ワサビ園(仮称)設立 わさび沢休耕地を洗い直しリノベーション、伊豆市の歴史紹介と合わせた観光ワサビ園を設立、麓に</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>湧水など様々な要因により、休耕地となっているわさび沢がありますが、個別に生産者と連携し対応しています。</p>

	<p>施策 戦略 4 地域資源や環境を活かした魅力ある観光地づくり</p>	<p>は素晴らしい温泉地が既に存在しており、ワサビの体験収穫、北条源氏、狩野派などの歴史探訪など含め、1泊でなく2泊できる屋外メニューの提供を行う。</p> <p>温暖化による、ワサビ生産量が減少する可能性が大きくなる。特に低地での栽培に大きな問題が発生する可能性があり、作付け面積を増す必要が出てくると考えます。</p>	<p>具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、温暖化による、ワサビ生産量減少のご意見については、関係課に情報共有させていただきます。</p>
<p>4</p>	<p>20～21 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 4 地域資源や環境を活かした魅力ある観光地づくり</p>	<p>日本一、世界一良質な根ワサビ生産量、世界農業遺産に認定されたワサビの栽培があり、市の産業所得で高い割合を占めているのに、それを象徴アピールする博物館すらなく、小規模で期間限定のワサビ収穫体験事業に留まっている。</p> <p>世界一のワサビ博物館の創設で、観光客を誘致する。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご意見のとおり、わさびは市特有の貴重な資源だと捉えています。令和6年4月に伊豆わさビジターセンターをオープンしました。当該施設は、「博物館機能」、「観光案内機能」、「わさびの食体験機能」の3つの機能を有しています。わさびを資源とした観光振興において、中心的な施設であり、施設の利用促進に向けて、引き続き観光振興事業との連携強化を図っていきたいと考えています。</p>
<p>5</p>	<p>20～21 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 4 地域資源や</p>	<p>太平洋側で唯一南から北へ流れる狩野川、全長の半分近くを伊豆市あり、上中下流にそれぞれ違った豊かで美して自然を見せてくれています。</p> <p>残念ですが、元祖狩野川友釣りは中流域では絶望状態です。アユ釣り解禁時の太公望がぎっしり立ち竿を出していた光景が、TVのニュースで毎年流されていましたが、近年は興津川が毎年放映されていま</p>	<p>【ご意見を反映し、修正します】</p> <p>ご指摘のとおり、狩野川を含む自然環境は市特有の貴重な資源だと捉えています。20 ページ戦略 4 魅力ある観光地づくりの説明文「豊かな観光資源を活用し…」は自然環境の保全を含む記述としていますが、説明が不足しているため、同説明文に「自然環境</p>

<p>環境を活かした魅力ある観光地づくり</p>	<p>す。</p> <p>原因の一つは、狩野川の濁りです。集中豪雨のがけ崩れもありますが、人工林再生の間伐事業で、大型機械を入れるための簡易道を作り、土石止めプールを作っていないため、降雨により流れ出た道路表層の大量の土砂が、一気に流失、支流から狩野川本流へ流れ込んで、魚類、動植物の生態を変えてしまっている。伐採期を過ぎた森林再生も大切ですが、猪鹿などの餌が全く自生しない状態を作っていることも理解できます。流れた細かい土砂は、狩野川流域に出て、多くが川底の石に付着、沈殿しています。アユは鰓をふさがれたり、8月になると苔が死滅して、水面を飛ぶ昆虫を食べるようになり、これでは友釣りのアユの縄張り争いがなくなってしまっている。おまけに鶺鴒やサギの食害防止を積極的に行う。アユだけでなく、川をきれいにし、魚を住まわせる。事業も大切で、狩野川のアユの友釣りの復活で、昔の様にシーズンを通じて遊べる川にして、多くの太公望を受け入れる。</p> <p>中央道の延長で、ますます通過車両は多くなり、狩野川中下流域に自然の中で遊ぶことのできる新しい考え方の施設を設置して、来場者を増やす。</p>	<p>や歴史・文化・伝統などの豊かな観光資源を保全・活用し、」の記述に修正します。</p> <p>また、狩野川に限らず、自然環境を活かした魅力ある観光商品の造成に向けて、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、狩野川を含む自然環境の保全は、観光振興事業だけでなく、広域的且つ横断的な問題であるため、貴重なご意見として、関係機関及び関係課に情報共有させていただきます。</p>
--------------------------	---	---

6	<p>全体的な意見</p>	<p>計画案には、市の大まかな仕訳とポリシーが描かれているだけで、具体的提案がない。これから意見をまとめて練っていくというようなスタンスで今回の計画書がまとめられているように思います。2023年の実績など過去との比較は非常に役立つものとなります。しかし、これまで何十年と合併前の町村が検討してきた事項が並べられているだけで、これからの伊豆市にとって役立つものが少ないのではないのでしょうか。余りにも森を見て気を見ず、木を見て森を見ずになっているように思います。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご指摘のとおり、本計画は、行政だけでなく市民や関係団体、民間事業者などの幅広い関係者が協力して観光振興に取り組んでいくための指針となるよう、今後10年の目指すべき方向性を記述しています。</p> <p>ご指摘を踏まえ、具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。</p>
7	<p>6 ページ 第1章 はじめに (2)伊豆市の観光を取り巻く現状と課題</p>	<p>「観光施設やインフラの老朽化」→「観光施設や別荘地、インフラの老朽化」とする</p> <p>理由：市内に6カ所あるとされる「別荘地」は多くの定住者・交流人口を生み出していますが、近年の廃屋増加・高齢化・維持管理の困難化により魅力が低減しています。 将来を見据え、観光地としての質を維持する対策が必要と思います。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご指摘の内容については、「インフラ」の記述において別荘地を含む市内の道路や公園などの社会基盤を意味しているため、計画案のままとさせていただきます。</p> <p>ご意見のとおり、観光地としての持続可能性には、別荘地を含む地域を維持していくことが重要だと考えています。</p>

8	<p>6 ページ 第1章 はじめに (2)伊豆市の観光を取り巻く現状と課題</p>	<p>追加項目として、「野生動物（特にシカ）食害による天城山等の自然環境悪化」を入れる。</p> <p>理由：観光の中心の一つである天城山周辺は、近年シカの増加による食害で低層植生がほぼ壊滅し、忌避植物しか残っていません。本来の自然環境・美観が失われ観光地としての魅力が大きく低減しています。</p> <p>シカ食害により、周辺の住宅地・別荘地でも家庭菜園・ガーデニングが不能に近くなり、またシカよけフェンスだらけで景観が悪化するなど、移住者・交流人口にとっての魅力が低減しています。移動する動物なので、伊豆全体で連携して捕獲圧を一層強める必要があります。</p> <p>なお、一部別荘地は野生シカがいることを宣伝素材として集客していますが、これは改めるよう市より指導していただき、鹿害問題に対し国・県の方針に基づく統一した姿勢を示すべきと考えます。</p> <p>鹿害防止の意識徹底は、今後考えられ、観光にとって打撃となる「熊害」の防止にもつながると思います。</p>	<p>【ご意見を反映し、修正します】</p> <p>ご指摘のとおり、自然環境の保全は観光振興における重要な課題であると考えています。6ページの「豊富な観光資源の活用、ニーズの多様化への対応」の欄において、自然環境の保全を含む形で「▶豊富な観光資源を十分に活用できていません。」と記述していますが、説明が不足しているため、同欄に「▶自然環境や歴史・文化・伝統などの多様な観光資源の保全が課題となっています。」の記述を追記しました。</p> <p>なお、自然環境の保全は、観光振興事業だけでなく、広域的且つ横断的な問題であるため、貴重なご意見として、関係機関及び関係課に情報共有させていただきます。</p>
---	---	---	--

9	<p>13 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策</p>	<p>「美しい伊豆創造センター、伊豆市商工会、富士伊豆農業協同組合、伊豆漁業協同組合、観光事業者、交通事業者、市民・地域など」 → 「美しい伊豆創造センター、伊豆市商工会、富士伊豆農業協同組合、伊豆漁業協同組合、観光事業者、交通事業者、市民・地域、森林管理者、別荘地事業者など」とする。</p> <p>理由：財政難ということで、予算や資本力のある国・県有林の管理者および別荘地事業者にも、取組みへの参画の協力を促すべきと考えます。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご指摘のとおり、取組みの実施にあたっては、国や県、森林管理者などの協力が必要となります。個別具体の取組みによって、適正な体制を構築していくことが望ましいと考えています。計画案では、代表的な例として、その他の欄に「関係団や別荘地を含む幅広い意味での市民・地域 など」と記述しているため、計画案のままとさせていただきます。</p>
10	<p>16～17 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 2 観光産業を担う人材の確保・育成</p>	<p>「おてつたび」の特集を NHK で見ました。旅をしながら短期のリゾートバイトをしていくものらしく、お金がなくとも旅をしたい人たちにはピッタリですね。これを首都圏に近い観光地の伊豆（市）が積極的に推せば、伊豆に興味を持つ人材、引いては定住者を増やすきっかけになりそうです。具体的には、ジオリアのある修善寺の総合会館（温泉場の観光拠点として、もっとちゃんと整備しませんか？例えばトイレ。普通にきれいなトイレがあれば女性客は安心して来ます）あたりに「伊豆おてつたびセンター」を設置、おてつたびを受け入れる宿を希望者が簡単に探して旅ができるようにするのです。い</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>人手不足や人材育成は深刻な課題となっており、観光業だけでなく、農林水産業や建設業などの産業を越えた連携や仕組みづくりが重要であり、「戦略 2 観光人材の確保・育成」に方針を記述しています。</p> <p>ご提案の「おてつたび」は短期的な人手確保や関係人口の創出などに寄与することが期待できるので、貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考</p>

		ま、自治体が手を挙げれば注目もされるのでは？まずは伊豆市から始め、伊豆半島をくまなく箱推しする形にできたら良いですね。	えています。
11	20～21 ページ 第3章 戦略と取組み (2)戦略ごとの主な施策 戦略4 地域資源や環境を活かした魅力ある観光地づくり	知人に頂いたチケットで伊豆市太鼓連盟のコンサートに初めて行き、和太鼓のレベルの高さに仰天しました。今や大ファンです。この太鼓は伊豆観光の宝、インバウンド客にも強くアピールするでしょう。観光客が練習を見られるツアーを組んだり、各団体の演奏動画を修善寺駅やジオリアで常時見られるようにするなど、伊豆(市)の伝統文化の目玉として市が積極的に紹介、バックアップしても良いのではないのでしょうか。	【貴重なご意見として承ります】 ご意見のとおり、和太鼓は伝統文化であり、地域の貴重な資源です。本計画においては和太鼓を含めて、様々な地域資源を観光地づくりや観光商品の開発・販売等に繋げていくために、「基本方針2 伊豆市ならではの観光資源の提供」を掲げています。 具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
12	4 ページ 第1章 はじめに (1)計画の位置づけ 9 ページ 第2章 伊豆市の観光の目指す姿 (2)将来像実現のた	伊豆市の誇れる観光資源としては源氏滅亡の「歴史の里」、多くの文人が訪れた「文学の里」がありますが、それら以上の価値を持つものとして弘法大師空海、「弘法さんの里」を上げることが出来ると考えています。 特に旧修善寺町の最も誇れる観光資源は「弘法大師の里」であるという事ではないのでしょうか。修善寺はもちろん、奥の院、桂谷八十八か所、いろ	【貴重なご意見として承ります】 ご意見のとおり、弘法大師は地域の歴史・文化・伝統の形成において重要であり、観光振興事業においても欠かすことできない存在であると考えています。 具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上

<p>めの基本方針</p>	<p>は道、独鈷の湯……。桂谷降魔の伝説、半経寺のお話などがたくさんある弘法大師ゆかりの里です。行事としても、修禅寺の春、秋の大祭をはじめとして、桂谷八十八か所巡礼、奥の院の星まつりなど1年を通して行われております。</p> <p>また、何より修善寺に住む人々は「弘法さん」として親しみと尊敬の念をもってお呼びしています。修禅寺には本尊大日如来像、弘法大師空海像、不動明王像、宝物館には裏山で発掘され密教仏具など一見の価値のあるものばかりです。</p> <p>これらの価値は地元の方々にも十分に周知されているとは思えません。修善寺のアピールが現在もなされていることはよく知ってはおりますが、「弘法大師空海」という存在に特化した1年を通した、「弘法大師空海の里」として、この地の魅力をさらにネットで日本全国あるいは世界に発信することはできないでしょうか。伊豆の子供たちにも「郷土の偉人」としての「弘法大師空海」をとおして、この地の持つ大きな価値を学んでもらい、インバウンドを含めた観光客にこの故郷を紹介する活動をすることで、郷土に対する誇りを身に付けてもらうことができるのではないのでしょうか。</p> <p>また、2034年は弘法大師空海、ご入定1200年の御遠忌になります。これが、2035年までの計画だとしたら、ちょうどそれに合致する行事を企画することもできるのではないのでしょうか？</p>	<p>げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
---------------	--	---

13	<p>6 ページ 第 1 章 はじめに (2)伊豆市の観光を取り巻く現状と課題</p> <p>28～29 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2)戦略ごとの主な施策</p>	<p>伊豆半島全体での連携不足がブランディングや観光誘致での大きな課題と考えております。戦略の中で具体的な活動が記載されていないように思われますので、各自治体との情報や課題の共有を行う連絡会議の構築など、戦略に盛り込んでもよいのではないのでしょうか？</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご意見のとおり、インバウンド含む観光誘客の増加には、伊豆半島全体での連携が必要不可欠だと考えています。現在、「美しい伊豆創造センター」を中心に自治体や観光協会などの関係団体、民間企業が参画し、伊豆半島を単位とした、プロモーションやインバウンドなどの観光振興に取り組んでいます。</p> <p>ご提案の「連絡会議の構築」ではなく、本計画においては、既存の組織による広域連携の強化を図っていくため、計画案のままとさせていただきます。</p> <p>なお、広域的な取組みを進めていく中で、新たな連絡会議の構築等が必要な際は都度検討してまいります。</p>
14	<p>25 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2)戦略ごとの主な施策</p> <p>戦略 6 移動手段の充実による回遊性向上</p>	<p>取組み例に 富士山静岡空港からのインバウンド誘客</p> <p>中部空港や成田、羽田からの誘客のほうに現実味があると考えます。各空港から船を使った導線の構築提案などを行い、より効果のある施策に限られた資源を集中したほうがよいとおもうのですが、いかがでしょうか？</p>	<p>【ご意見を反映し、修正します】</p> <p>インバウンド誘客における移動手段や回遊性向上の取組みにおいて、現行の記述では、説明が不足しているため、「インバウンド誘客を見据えた空港、港、鉄道駅などの交通結節点からのアクセス向上」の記述に修正します。</p> <p>具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考</p>

			えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
15	<p>27 ページ</p> <p>第 3 章 戦略と取組み</p> <p>(2) 戦略ごとの主な施策</p> <p>戦略 7 客観的なデータの収集とマーケティングの強化</p>	<p>DX 化も推進されていますが、具体的な AI を使った情報発信なども入れてはいかがでしょうか？雲仙地域でウンゼリーという AI による観光情報提供を行っており、なかなか良いなと思いました。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご意見のとおり、AI の活用はプロモーションや調査分析、業務効率化など観光振興事業において効果が期待できるため、今後の取組みには、AI 活用が必要であると考えます。</p> <p>戦略 7 に限らず、幅広い分野での AI 活用が考えられ、個別の取組みにあたり、都度検討していく要素であるため、計画案のままさせていただきます。</p> <p>具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>

16	-	<p>ジオリアを駅前にするなど、もっとわかりやすい所にしないともらいたくない。</p> <p>ざっくり書いてしまいましたが、この観光推進基本方針が策定されたことに大きな期待を持っています。ぜひ伊豆市を、伊豆半島を盛り上げ、観光資源、歴史、自然、観光客、事業者そして地域住民がウィンウィンになればと期待しています。私も協力できたらなあと考えていますので、さらなる情報発信を、どうぞよろしく願いいたします。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ジオリアについては美しい伊豆創造センターが運営しており、伊豆市だけでなく、広域的な施設であるため、貴重なご意見として、美しい伊豆創造センターに情報共有させていただきます。</p>
17	<p>9 ページ</p> <p>第 2 章 伊豆市の観光の目指す姿</p> <p>(2) 将来像実現のための基本方針</p>	<p>基本方針 3 幅広い関係者による推進体制の構築に、市民、各地区、伊豆半島広域の協議、連携体制と大まかに書いてありますが各自治会、各地域づくり協議会も入れた方がよいと思われまます。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご指摘の部分については、方針として、行政だけでなく、幅広く連携していくことを記述しています。そのため、自治会や地域づくり協議会、観光事業者、広域的な組織なども含めて、「市民、各地区、伊豆半島広域」と記述しています。</p> <p>つきましては、計画書全体の構成から、基本方針の記述は計画案のままさせていただきます。</p>
18	<p>13 ページ</p> <p>第 3 章 戦略と取組み</p> <p>(2) 戦略ごとの主な施策</p>	<p>体制欄の表 その他の部分に自治会、地域づくり協議会も加えた方がよいと思われまます。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>ご指摘のとおり、取組みの実施にあたっては、必要に応じて、地域づくり協議会や自治会などの協力が必要となります。個別具体の取組みによって、適正な体制を構築していくことが望ましいと考えていま</p>

			す。計画案では、代表的な例として、その他の欄に「地域づくり協会、自治会を含む幅広い意味での市民・地域 など」と記述しているため、計画案のままとさせていただきます。
19	14 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 1 市民が地域への愛着、誇りを持てる持続的な観光まちづくりの推進	戦略 1 インナープロモーションに、「市民が地域への愛着や誇りを感じられるよう、観光の意義や効果、地元の観光資源などを発信し、市民の観光に対する理解の促進を図ります」とありますが、観光客にとっての魅力は、観光化された観光地だけではないはずです。例えば通り過ぎる美しい桜並木や透明な水の流れる川、青く美しい海などの魅力を維持していくには自治会の清掃活動の協力や、住民の合併浄化槽利用等への理解が無ければ維持できません。市民が伊豆市の観光に対してどうやって協力できるのかまで伝える必要があると思われま	【貴重なご意見として承ります】 ご指摘のとおり、取組みの実施にあたっては、必要に応じて、地域づくり協議会や自治会などの協力が必要となります。 地域の皆さまからの協力は多様な方法があり、立場や状況によって、解釈が変化するものなので、本計画において、「どうやって協力できるのか」の記述は行わず、計画案のままとさせていただきます。 具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
20	18 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 3 社会情勢の	戦略 3 危機管理の強化に市を挙げた危機管理の強化を図りますとありますが、いざという時には各地区の自治会が対応せざるを得ないので連携の必要があると思われま	【貴重なご意見として承ります】 ご意見のとおり、危機管理には自治会や市民の皆さまの協力・連携が必要不可欠だと考えています。そのため、自治会や地域づくり協議会、観光事業者なども含めて、「市を挙げた危機管理の強化」と記述して

	変化、突発的な事象への対応		貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
21	24 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 6 移動手段の充実による回遊性向上	伊豆市に到着するまでの伊豆縦貫道のゴールデンウイークや連休の渋滞、市内の渋滞について全く触れられていません。マイカーで伊豆市に来た方が快適に旅行できているのか検討が必要と思われる。 渋滞を避けて早朝・夜間に到着する方へのお得なサービス（朝食提供や早めのチェックイン、荷物預かりサービスなど）も検討する必要があると思われる。	【ご意見を反映し、修正します】 ご指摘のとおり、伊豆半島における道路混雑は観光振興において長年の課題となっています。 24 ページ利用しやすい移動手段の説明文に「また、円滑な移動のため、静岡県や美しい伊豆創造センターなどと連携し、広域的に伊豆半島の交通混雑への対応を図ります。」の記述を追記します。 具体的な取組みについては、伊豆市産業振興協議会を中心としたプロジェクト推進チームを立ち上げ、幅広い関係者による検討を進めていきたいと考えています。ご提案は貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。
22	27 ページ 第 3 章 戦略と取組み (2) 戦略ごとの主な施策 戦略 7 客観的なデータの収集とマーケティング	強化 左下の資料が、右下の資料に隠れて一部読めない状態です（中伊豆地区の データ）。右の宿泊状況の資料に関して、エリア以外の場所で宿泊と書いてありますが、エリア以外と言ってもどこの地区に泊まったかの記述がないので、細かい分析ができないので、エリア以外とはどこに宿泊しているのか、またなぜそこに宿泊しているのか分析するデータを収集する必要があると思われる。	【ご意見を反映し、修正します】 27 ページ下部に添付している令和 6 年度観光調査事業のデータは、イメージとして掲載しています。誤解を与えてしまうため、イメージである旨の記述を追記します。 また、掲載しているデータは抜粋となります。今後、令和 6 年度観光調査事業は伊豆市産業振興協議会のホームページで公開する予定です。

23	<p>34 ページ 第4章 計画の推移 (2) 観光振興のための役割分担</p>	<p>それぞれの主体の関わり方 伊豆市は「市民との協働など、観光振興を下支えする役割を担います」とあり、市民・地域のところには「観光への理解の促進や観光振興の取り組みへの参画により、地域の街づくりの推進が期待されますと書かれています。協働するためには、伊豆市や事業者が実際の活動主体となる自治会に、公民館等を利用して丁寧に説明と協力要請をするようにして、街づくりの推進をしていく必要があると思われます。協力の際に必要な費用についても、その話し合いにおいて行われるべきであると思われます。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】 ご指摘のとおり、取組みの実施にあたっては、必要に応じて、自治会や地域づくり協議会などの協力が必要となります。 ご協力をお願いする際には、慎重な検討と丁寧な説明など、合意形成に努めていきます。</p>
----	--	---	---

24	<p>35～37 ページ 第4章 計画の推移 (3) 今後に向けて</p>	<p>37 ページ短期ロードマップに入湯税等の減少が見込まれることから、法定外目的税の導入を検討しているとありますが、伊豆市自体も多様な観光客の受け入れとして、公共空間、各施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を促進し、多様な観光客を受け入れる観光地づくりを図るとして、字幕表示システムや点字による観光案内の充実や、道路の補修等、必要不可欠な事業と、市として必要性の低い事業を精査して、切り詰める努力があって導入すべきものと考えます。</p>	<p>【貴重なご意見として承ります】</p> <p>将来的な入湯税の減少だけでなく、市の財政状況において、法定外目的税などの新たな観光振興財源の確保は、観光振興事業の推進には必要だと考えています。</p> <p>また、ご意見のとおり、観光地づくりには施設の維持管理やバリアフリー化、観光案内の充実、道路の補修などが必要不可欠となります。</p> <p>事業の適正化とあわせて、令和8年度から幅広い関係者による具体的な検討を進めていきます。貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
----	---	--	---